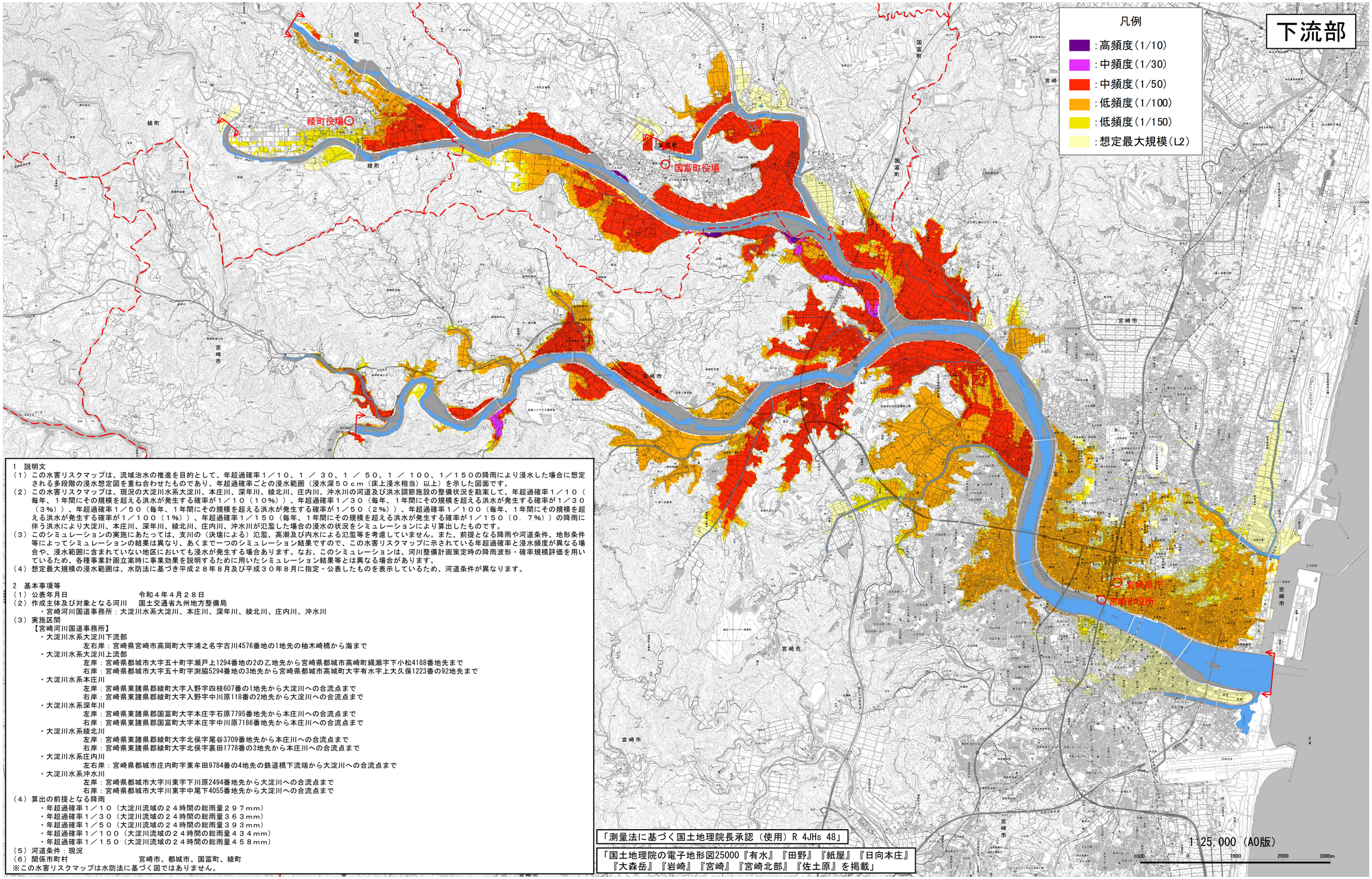
大淀川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】

暫定版

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1　説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／１５０の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の大淀川水系大淀川、本庄川、深年川、綾北川、庄内川、沖水川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））、年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７％））の降雨に伴う洪水により大淀川、本庄川、深年川、綾北川、庄内川、沖水川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備計画策定時の降雨波形・確率規模評価を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年８月及び平成３０年８月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2　基本事項等

（1）公表年月日　　令和４年４月２８日

（2）作成主体及び対象となる河川　　国土交通省九州地方整備局

・宮崎河川国道事務所：大淀川水系大淀川、本庄川、深年川、綾北川、庄内川、沖水川

（3）実施区間

【宮崎河川国道事務所】

・大淀川水系大淀川下流部

左右岸：宮崎県宮崎市高岡町大字浦之名字古川4576番地の1地先の柚木崎橋から海まで

・大淀川水系大淀川上流部

左岸：宮崎県都城市大字五十町字瀬戸上1294番地の2の乙地先から宮崎県都城市高崎町縄瀬字下小松4188番地先まで

右岸：宮崎県都城市大字五十町字渕脇5294番地の3地先から宮崎県都城市高城町大字有水字上大久保1223番の92地先まで

・大淀川水系本庄川

左岸：宮崎県東諸県郡綾町大字入野字四枝607番の1地先から大淀川への合流点まで

右岸：宮崎県東諸県郡綾町大字入野字中川原118番の2地先から大淀川への合流点まで

・大淀川水系深年川

左岸：宮崎県東諸県郡国富町大字本庄字石原7795番地先から本庄川への合流点まで

右岸：宮崎県東諸県郡国富町大字本庄字中川原7186番地先から本庄川への合流点まで

・大淀川水系綾北川

左岸：宮崎県東諸県郡綾町大字北俣字尾谷3709番地先から本庄川への合流点まで

右岸：宮崎県東諸県郡綾町大字北俣字裏田1778番の3地先から本庄川への合流点まで

・大淀川水系庄内川

左右岸：宮崎県都城市庄内町字東牟田9784番の4地先の鉄道橋下流端から大淀川への合流点まで

・大淀川水系沖水川

左岸：宮崎県都城市大字川東字下川原2494番地先から大淀川への合流点まで

右岸：宮崎県都城市大字川東字中尾下4055番地先から大淀川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨

・年超過確率１／１０（大淀川流域の２４時間の総雨量２９７ｍｍ）

・年超過確率１／３０（大淀川流域の２４時間の総雨量３６３ｍｍ）

・年超過確率１／５０（大淀川流域の２４時間の総雨量３９３ｍｍ）

・年超過確率１／１００（大淀川流域の２４時間の総雨量４３４ｍｍ）

・年超過確率１／１５０（大淀川流域の２４時間の総雨量４５８ｍｍ）

（5）河道条件：現況

（6）関係市町村　　宮崎市、都城市、国富町、綾町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。